

佐藤美登里教諭は17年ほど前からコラム学習に取り組んできた。意図的に新聞を教材化した自作のプリントを作成し、コラムを中心とした短く秀逸な新聞の文章になれ親しませることによって、**読解力**はもちろん、**論理的思考力**や**表現力**を身につけさせたいと考えた。

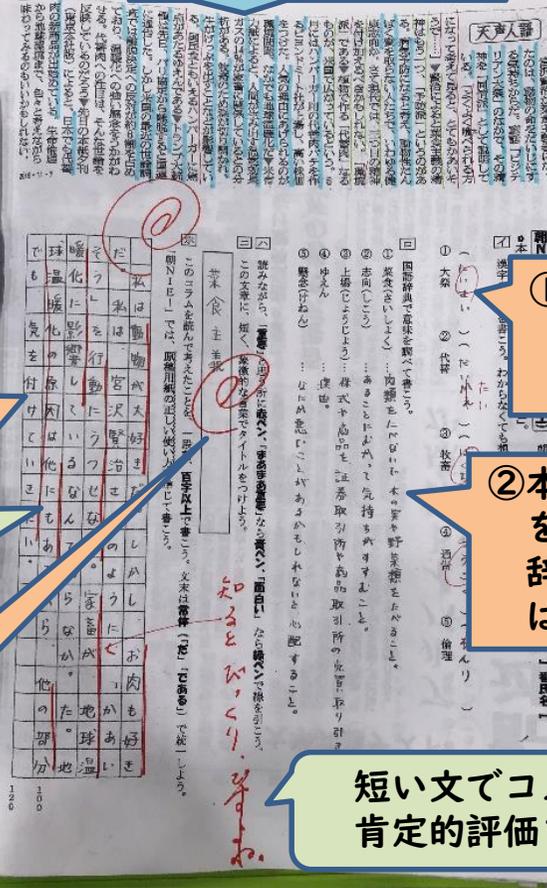
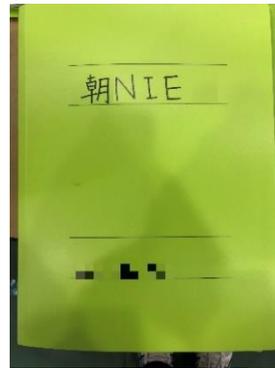
学校事情により、年によって取組に多少の違いはあるが、他の教職員もコラム学習の意義を実感しており、**全教職員協働**のもと取り組んでいる。コラム学習の時間は、辞書のめくる音と鉛筆が紙を滑っていく音だけが静かに響いている。1年生に取り組ませる場合には、新聞自体への抵抗感が強いことから、共感を得やすいコラムを選び、ひたすら書き写すことにも挑戦させてきた。

取組を進める中で、佐藤教諭が期待していた力の向上以外にも、**時事問題への関心の高まり**や**語彙力**、**集中力の向上**等たくさんの変容が見られたようである。



付箋がいっぱいの辞書

新聞のコラム等



③ 3色ボールペンで傍線や囲みを入れる。

① 本文中の漢字の読みを書く。その後、答え合わせをする。

② 本文中の語句の意味を辞書で調べて書く。辞書の調べた場所には付箋をはる。

⑤ 意見作文を指示された字数の中で書く。

生徒の考えを評価し、赤で○や傍線を引く。

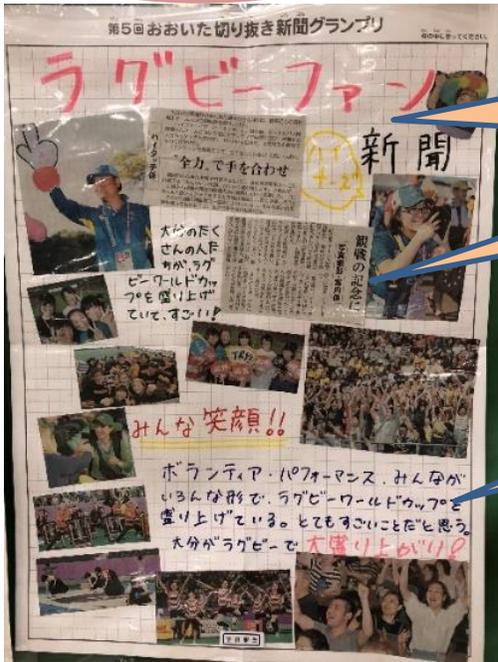
④ タイトルをつける。

短い文でコメントを書き、肯定的評価をする。

ポイント

<コラム学習を継続してきた生徒の感想より>

- ・コラム学習も2年目になって、記事の中で筆者が伝えたいことなどがわかるようになってきました。漢字の読みは昨年よりも正解数が多くなったと思います。私はタイトルをつけるのが苦手なので、3年生ではできるように頑張りたいです。
- ・だんだん書き写しも早くかけるようになってよかったです。あと、知らない漢字や言葉が出てきて調べてわかると楽しかったです。知らないニュースもたくさんあって、今どんな出来事が起こっているのかわかって勉強になりました。



①テーマを設定
(興味をひく見出しの設定)

②気になる記事や写真

③新聞の内容を、自分の言葉で、わかりやすく短い文書で表現

時事問題への関心も高まり、生徒が楽しみながら、国語科での学習の成果を表現することができる。



緑ヶ丘中学校では、新聞のコラム学習の他にも、新聞を活用した様々な取組を行っており、校内に生徒作品の掲示や新聞に興味関心を抱かせるための環境整備にも力を入れている。

上段は、新聞の紙面から気になる記事や写真・広告を切り抜き、テーマを設定して自分だけの新聞をつくり、県内の小・中・高校性、大学・短大・専修学校生を対象にした「おおいた切り抜き新聞グランプリ」に応募した作品の一部である。

左下は新聞6紙をいつでも誰もが読み比べることができるようにと、生徒玄関ホールに「新聞立ち読み場」を設置している様子である。

新聞を活用したその他の取組

- ・朝NIE関連記事の紹介
- ・全教職員による「NIEの窓」
- ・昨日の新聞☆1面読み比べ
- ・国語科の授業や道徳教育での活用
- ・新聞記事を防災教育に活用
- ・大分合同新聞 高校受験生のページの掲示